

第3章
「学習支援研究・開発事業」
の報告

1 学習支援研究・開発事業の概要

(1) 目的

- 平成22～23年の2ヶ年で、横浜市立小中学校一般学級在籍の特別な支援を必要とする児童生徒が、そのもてる力を発揮し、力を伸ばすための指導の在り方や体制の構築について研究・開発を進める。
- その成果を各学校に周知し、教育活動の充実に資する。
 - ・報告会の実施
 - ・「学習支援員活用マニュアル（仮称）」の作成・配布

(2) 研究・開発の内容

- ①特別な支援を必要とする児童生徒の学習に関する指導・支援の内容及び方法
- ②学級における学習支援の在り方
 - ・学習支援員の研修
 - ・学習支援員の配置
 - ・学習支援員を活用した支援内容や方法
- ③特別支援教室等を活用した効果的な指導・支援（学習支援員の活用）

(3) 研究の方法

- ①構成：委員長（学識経験者1名）・副委員長（学識経験者1名）・
専門委員（専門性を有する教職員6名）
研究協力校（小学校4校・中学校2校）の
特別支援教育コーディネーター（計6名）
- ②全体会：年3回程度 情報の共有及び課題の整理をする
- ③作業部会：年3～4回程度
必要に応じて部会に分かれて授業観察・課題整理・研究を行う
- ④他市先進事例学校視察：先進的に取り組んでいる他都市の学校を視察し、
研究・開発の参考とする（小学校2校・中学校1校）
- ⑤報告会：平成22年度末に中間報告会、平成23年度末に報告会を実施